

選奨土木遺産（2011年選奨） 旧奈良駅舎

◇諸元等¹⁾

現名称	奈良市総合観光案内所
旧名称	JR 奈良駅舎
所在地	奈良市三条本町
設計者	柴田四郎・増田誠一
施工者	大林組
構造	鉄骨鉄筋コンクリート造平屋建て
竣工年	1934年（昭和9年）
平面形状	幅 25m、奥行き 24.5m



写真－1 全景

◇沿革と歴史的背景^{1),2),3),4),5)}

奈良駅は、1890年(明治23年)12月に大阪鉄道王寺駅から奈良駅間が開通した際に、木造平屋の初代駅舎が完成した。その後1896年(明治29年)に奈良鉄道木津駅から奈良駅間が、1899年(明治32年)には関西鉄道大仏駅から奈良駅間が完成し、1905年(明治38年)に奈良鉄道が関西鉄道に合併された後、1907年(明治40年)に関西鉄道が国有化され国有鉄道奈良駅となった。



写真－2 初代駅舎¹⁾

その後1934年(昭和9年)に、洋風建築物の上に寺院風の屋根を設けた独特な和洋折衷様式の二代目駅舎が完成した。

また1987年(昭和62年)には国鉄民営化によりJR西日本に引き継がれたが、鉄道の立体化により駅周辺の交通渋滞の解消や分断された市街地の一体化を目的として、1998年(平成10年)に連続立体交差事業が着手され、2003年(平成15年)に仮駅舎が完成して駅の機能が終了すると同時に、2004年(平成16年)に母屋部分のみ曳家工法により反時計回りに13°回転、北東へ約18m移動して保存された。2009年(平成21年)には内部が奈良市総合観光案内所として整備されて現在に至っている。



写真－3 曳家工事の状況⁴⁾

◇特徴^{1),5)}

第二代駅舎は、奈良を意識した五重塔などに見られる「相輪」や「風鐸」の装飾を備える「寺院風」の屋根が特徴である。折上格天井といった和風建築様式や柱や壁面にあしらわれた古代の唐草文様のレリーフには寺院建築の影響もみられるが、スクラッチタイル張りの外壁や縦長の上げ下げ窓など洋風建築の意匠も取り入れられている。また当初は、「平等院鳳凰堂」を模して両袖に増築する計画であったようだが、結果的には一部は未完成のままとなった。

構造は耐震性や耐火性を考慮した鉄骨鉄筋コンクリート造りで、当時流行していた和洋折衷様式が採用されたが、旧国鉄の駅舎としては大変ユニークなものだった。

設計は当時大阪鉄道局の技師であった柴田四郎氏と増田誠一氏が担当した。



写真－4 相輪



写真－５ 和風建築様式の意匠



写真－６ 洋風建築様式の意匠

現在は奈良市総合観光案内所として活用されているが、内部には「平城宮跡第1次大極殿正殿の柱と組み物」が復元設置され、多言語対応の案内所、手荷物預かり所、外貨両替機、祈祷室、多機能トイレ、授乳室、資料閲覧「ならイブライリー」などが配置されている。またカフェスペース（店内19席、テラス26席）も設けられ、インバウンド観光客など、連日多くの観光客でにぎわっている。

◇文化的価値^{1),3)}

旧奈良駅舎は、古都奈良を象徴する相輪を有する寺院風の屋根が乗ったユニークなデザインであり、昭和初期の建築の特徴を良く示していて、多くの観光客や市民に愛されていた。そのため、連続立体交差事業により一旦撤去が決まっていたにもかかわらず、市民や日本建築学会からの保存運動により存続が決まり、駅前整備や交通混雑解消の実現を図りながら、歴史的価値の有る駅舎を保存活用して観光都市としての賑わいを創造した好事例となった。

それを受け、2007年(平成19年)に近代化産業遺産、2011年(平成23年)には土木学会選奨土木遺産に認定されている。



写真－７ 認定プレート

◇コラム

- ① [鉄道駅舎について](#)
- ② [旧奈良駅舎の曳家工法](#)

◇参考文献

- 1) 岡田隆太郎：大和モダン建築－JR 奈良駅舎，2023.
<https://nara-atlas.com/architecture/construction/src/88>
- 2) 奈良市：奈良市史 通史四 第二章 奈良市の成立 第一節 近代都市への胎動，p.138，1995.
<https://www.city.nara.lg.jp/uploaded/attachment/21412.pdf>
- 3) 黒沼善博：曳家による近代建築の保存活用と都市基盤整備-旧 JR 奈良駅舎本屋を事例として-，地域学研究(東京)，2012.
<http://repo.komazawa-u.ac.jp/opac/repository/all/33442/kci025-05-kuronuma.pdf>
- 4) 奈良県立図書館 IT サポーターズ：奈良の今昔写真 WEB/国鉄・JR 奈良駅.
<https://www.library.pref.nara.jp/supporter/naraweb/naraekihukin.html>
- 5) 国立文化財機構奈良文化財研究所編：奈良県近代和風建築総合調査報告書 奈良県の近代和風建築，奈良県教育委員会，2011.

(文責：南荘 淳)